PART2　ぬ・ねの識別（打消・完了の見分け方）

★〈「打消」と「完了」の見分け方〉その②

「　　」（＝活用形）確認

●『ぬ』

1　～ぬ＋連体形接続の語

→ **連体**形＝「　　　　」

ぬ＋体言 →「　　」

（例）まだ見**ぬ**物語の一を見て、…

2

〜ぬ＋｛「　」。終止形接続の語

終止形＝「　　」

※ただし、文末の「ぬ」の時、**係助詞**と**疑問副詞**に注意！

文中に **係助詞「ぞ・なむ・や・か」疑問副詞（「いか系」「な系」）** がある→文末の「ぬ」は「　　」形→「　　」

（例）

同じ所にゐ**ぬ**めり。

腰なむ動かれ**ぬ**。

●『ね』

1　〜ね＋已然形接続の語

→ **已然**形＝「　　　　」

ねば **ね**ど（も） こそ〜**ね**	**打消**「ず」の已然形

（例）多く聞こえ**ね**ば、…

2

～ね＋｛　」。

命令形接続の語

命令形＝「　　」 → ね

※ただし、文末の「ね」の時、**係助詞「こそ」**に注意！

（例）

絶えなば絶え**ね**。

さらにこそ信ぜられ**ね**。

問五　次の傍線部の文法上の意味をそれぞれ答えよ。

①　午の時の下がりまで見えねば、…

②　「心も得ぬことかな」

③　日ごろは何ともおぼえぬ鎧が、…

④　秋来ぬと目にはさやかに見えねども…

a＝

b＝

★確認は「上」からでも「下」からでも、わかる方からでOK！

（例）左記に**「問一・問五」**からいくつか抜粋しましたので、確認してみましょう。

① 時知ら（四段・未）ぬ山は…

② 駿河の国に至り（四段・用）ぬ。

③ ことに思は（四段・未）ねど、行けば…

④ 午の時の下がりまで見え（下二段）ねば、…

⑤ 「心も得（下二段）ぬことかな」

問六　次の傍線部ア・イの「ね」について、例にならって文法的に説明せよ。

（例）　尊敬の助動詞「る」の連体形

「とくとく帰りね（ア）」

ア＝

「君がすみかをそこと知らねば（イ）…」

イ＝

問七　「都の内とも見えぬ所のさまなり」の傍線部の動詞の活用の種類・活用形を答えよ。

問八　次の傍線部「ぬ」はいずれも助動詞であるが、一つだけ種類の異なるものを選べ。

ア　秋になりぬ。
イ　打松おどろおどろしからぬほどに置きて、…
ウ　うちとけぬさまにものをつつましと思したる気色、…
エ　恋の煙こそ世には絶えせぬほのほなりけれ
オ　酔泣きのついでに、忍ばぬこともこそ

問九　次の傍線部の中で、意味の異なるものを一つ選べ。

ア　覚え侍らねども
イ　侍らぬ程に
ウ　思はざるに
エ　失せ給ひぬ
オ　変はらずぞ

問十　傍線部「ね」の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

「下りね」と、しひてのたまへば、…

ア　打消助動詞「ず」の已然形
イ　ナ変動詞「往ぬ」の連体形
ウ　念押しの終助詞「ね」
エ　完了助動詞「ぬ」の命令形
オ　希望を表す終助詞「ね」

問十一　傍線部の説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

①「取りて参らむ」とて立ちぬ。

②いま一声呼ばれていらへむと、念じて（＝我慢して）ねたるほどに、…

③衣着ぬ妻子なども、さながら内にありけり。

④させる能もおはせねば、ものをも惜しみたまへ。

⑤頼まぬものの恋ひつつぞ経る。

⑥ののしるうちに、夜更けぬ。

⑦あはれ今年の秋もいぬめり。

⑧　強からぬは女の歌なればなるべし。

⑨　吹き入れたるこそ、荒かりつる風のしわざとはおぼえね。

⑩　足音もせぬに、田畑は…

ア　打消の助動詞「ず」
イ　完了の助動詞「ぬ」
ウ　ナ行変格活用動詞の活用語尾
エ　ナ行下二段活用動詞「寝」

第10講 PART2 確認問題

①「一百七十六年ばかりにやなりぬらむ」の傍線部の活用形を、次の中から選べ。

ア 未然形　イ 連用形　ウ 終止形　エ 連体形　オ 已然形　カ 命令形

②「京には見えぬ鳥なれば、…」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア 完了の助動詞　イ 動詞の活用語尾　ウ 動詞　エ 打消の助動詞

③「たれとこそ知らね」の現代語訳として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア 誰なのかわからない　イ 誰なのかわからないだろうか、いやわかる

ウ 誰なのかわかっていた　エ 誰なのかわかるはずだ

④　傍線部ａ〜ｅのうち、文法上同じ意味を持つ助動詞の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

何がしといふものの方（かた）に行きぬ（a）。
たやすく改まるべくもあらねば（b）、…
「かなしき妻子（めこ）の顔をも見で死ぬ（c）べきこと」
「一人一人にあひたてまつり給ひね（d）」
起きもせずね（e）もせで夜をあかしては…

ア　a—d　　イ　a—e　　ウ　b—c　　エ　b—d

⑤　「われは皇子に負けぬべしと、…」の傍線部の文法的意味と活用形の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　完了—連用形　　イ　強意—終止形　　ウ　過去—已然形　　エ　打消—連体形

第10講　PART2　解答

問五　①　打消　②　打消　③　打消　④　a　完了　b　打消

問六　ア　完了の助動詞「ぬ」の命令形
　イ　打消の助動詞「ず」の已然形

問七　ヤ行下二段活用・未然形

問八　ア

問九　エ

問十　エ

問十一　①　イ　②　エ　③　ア　④　ア　⑤　ア
　⑥　イ　⑦　ウ　⑧　ア　⑨　ア　⑩　ア

第10講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 上が「なり」でラ行四段活用の連用形なので、この「ぬ」は完了「ぬ」。完了「ぬ」は「な・に・ぬ・ぬる・ぬれ・ね」と活用するので、終止形。もしくは、下を確認し、終止形に接続する助動詞「らむ」があることからも傍線部は終止形。よって、ウが正解。

② 下が「鳥」と体言なので、この「ぬ」は連体形。したがって、打消の助動詞「ず」である。よって、エが正解。

③ 上に係助詞「こそ」があるので、この「ね」は已然形。したがって、打消の助動詞「ず」である。よって、正解はア。

④ aとdは文末で、上に係助詞や疑問副詞がないこと、直前が四段活用動詞の連用形であることから、完了。bは打消「ず」の已然形。cはナ変動詞「死ぬ」の一部。eはナ行下二段活用動詞「寝」。よって、正解はア。

⑤ 上が「負け」でカ行下二段活用のため、未然形か連用形かはここだけでは不明。よって、下を確認する。「べし」なので接続を考えると、この「ぬ」は終止形だとわかる。よって、完了の助動詞「ぬ」だが、さらに細かく意味を考えると、下に推量系「べし」がくっついているので、この「ぬ」は強意のほうがよい。選択肢を見ると強意があり、活用形との組み合わせも適切。よって、イが正解。

〔解答〕

① ウ　② エ　③ ア　④ ア　⑤ イ